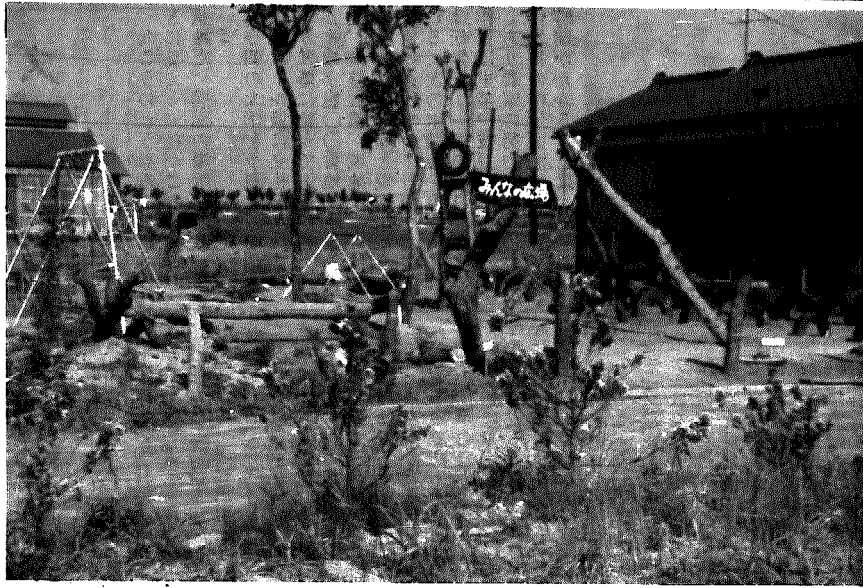


# 広報 うねり

第4号

発行所 黒埼村役場  
発行人 清水善夫  
印刷所 小野塚印刷所



写真は、アイデアをふんだんに生かした鳥原団地の〔みんなのひろば〕

## 〈村の動き〉

6月末現在	
人口	16,943人
男	8,287人
女	8,656人
世帯数	3,678
6月1日から6月末まで	
死出	4人
出生	22人
婚姻	24組

## ガス基地附近に 遊園地が

鳥原本村七組と云つても村内の大部分の方は「さて……と首を傾げると思いますが、ガスタンクの所の団地と云えば誰にも「ああそうか」とおわかり頂けると思っています。四年前の夏から建設が始り、現在二十五戸の小さな団地になりました。最近この団地に村内には数少ない児童遊園地ができました。広さ八十坪弱の狭いところにジャンブルジムや馬跳び、平均台跳び箱など、古タイヤを利用していろいろ工夫を凝らして組み立てたもの、団地内の有志の方が自分のお子さん用に購入されたブランコや鉄棒を提供していただき、外に砂場とベンチ、花壇をつくりました。でき上りは普通各地に大金を投入して作った遊園地と較べてもそんなに見劣りしない立派なものとなつたと思つてます。

有志が茶呑み話の中に「何とか遊園地や公民館をつくりたいね。公民館はまだ先のこととしても、遊園地は不可能じゃないぞ」と子供を遊ばせるだけでない

く、子供を通じて親どうしが親しく交り、マイホームに閉じこもりがちな新開地の悪い面を正せるかもしれないし、……などど話しはじめたのは昨年の秋のことでした。しかし、土地、資金、団地内の協力態勢などと具体的なことになる前途は真暗

でした。そんな時、黒崎分校に勤務の伊藤さんが快く土地を無償で貸して下さるとの話を知り、三月の団地総会で決議。数回の役員会を経て五月二十四日早朝、団地の人達が総出で鉋やスコップ、斧を持って集り、リーダーの指示の下、黙々と約二時間、アツという間に立派な遊園地をつくりあげました。鳥原本村の丸山正一さん宅から根付きのタモ木を貰い受け移植する班、タモ木の杭で棚をつくる班、大工さんは丸太に斧を振るつてベンチを作る。女性も草刈り、地ならし、穴掘りと皆が協力をすれば大した仕事ができるものです。経費は砂・針金・ペンキ代だけ。しめて三千円也。今時信じられぬような金額でした。

わたくし達のほんの小さな実践ですが、皆の善意を信頼し、住民が一致協力すればうんと価値ある事業ができることを身をもって学びました。村長さんをはじめ村当局の方々も早速わたくしと、何かの援助を約束して下さい

ました。

今後とも、明るく住みよい町づくりに関心する住民一同、いっその努力するつもりです。

(西潟記)

## 新潟都市計画 市街化区域(真案)

縦覧は8月1日～8月14日

市街化区域と市街化調整区域に関する真案が縦覧されます。都市計画区域の中を市街化区域と市街化調整区域に区分する。いわゆる線引きを真知事が行なう最終決定に先だつて今回関係市町村の住民にその案を縦覧することになったものです。

なおこの真案に対し関係市町村の住民や利害関係者は縦覧期間の終了する日までに県知事に対して意見書を提出することが出来ます。

一、縦覧日時  
昭和45年8月1日より同月8月14日まで  
毎日午前9時から午後4時30分まで

一、縦覧の場所  
○新潟 新発田、新津の各土木事々所  
○各市町村(関係行政区域のみ)

一、意見書の提出方法  
○意見書は知事あてに住所氏名職業明記し要旨と理由を区分して記載して下さい。

○提出先 新潟市一番堀通り町  
新潟県庁分館土木部  
計画課宛